

# 白島石油備蓄株式会社

## I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

- 所在地 東京都千代田区神田錦町二丁目9番地
- 設立年月日 昭和56年6月8日
- 代表者 代表取締役社長 成田 克史
- 資本金 100,000千円
- 北九州市の出資金 5,000千円（出資の割合 5.0%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6 人	0 人	0 人	6 人
常 勤	5 人	0 人	0 人	5 人
非常勤	1 人	0 人	0 人	1 人
職 員	84 人	0 人	0 人	84 人

## II 令和4年度事業実績

令和4年度における我が国経済は、少しずつ回復の兆しがみえてきたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、急激な為替変動など不安定要因が多く発生した。原材料費・物流費・光熱費等の高騰が顕著となり、年度の後半には米国の金利上昇により世界的な景気減速懸念が広がった。

このような中、白島石油備蓄(株)は、(独)エネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」という。）が実施した令和5年度から令和9年度までの5ヵ年に亘る白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託の一般競争入札において落札し、機構との間で業務委託契約を締結した。

基地の操業に関しては、機構との平成30年度から令和4年度までの5ヵ年に亘る白島国家石油備蓄基地操業に係る業務委託契約の5年度目にあたり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、我が国のエネルギーの安定供給を図るため、IEA（国際エネルギー機関）協調行動の一環として実施された国家備蓄石油の放出を8月から9月にかけて完遂し、その他、契約に定める業務を着実に遂行した。

業績については、当期は機構から2,498百万円の収入を得て、36百万円の当期純利益となった。

### Ⅲ 令和4年度決算

#### 1 貸借対照表(総括表)

令和5年3月31日現在(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,804,334	流動負債	2,504,779
現金及び預金	1,653,968	未払費用	2,374,432
営業未収金	1,688,386	未払法人税等	11,243
前払費用	7,886	未払事業所税	8,625
未収消費税等	453,760	預り金	5,733
その他	333	賞与引当金	104,744
固定資産	68,271	固定負債	494,123
有形固定資産	10,622	退職給付引当金	459,496
建物	8,481	役員退職慰労引当金	34,627
工具器具備品	2,141	負債合計	2,998,902
無形固定資産	1,398	(純資産の部)	
電話加入権	84	株主資本	873,704
ソフトウェア	1,314	資本金	100,000
投資その他の資産	56,250	利益剰余金	773,704
長期差入保証金	11,584	利益準備金	25,000
繰延税金資産	44,665	その他利益剰余金	748,704
		別途積立金	90,000
		繰越利益剰余金	658,704
		純資産合計	873,704
資産合計	3,872,606	負債及び純資産合計	3,872,606

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て

#### 2 損益計算書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		2,498,548
売上原価		2,083,436
売上総利益		415,112
販売費及び一般管理費		343,330
営業利益		71,782
営業外収益		
受取利息	3	
雑収入	1,568	1,571
経常利益		73,353
税引前当期純利益		73,353
法人税、住民税及び事業税	36,968	
法人税等調整額	249	37,218
当期純利益		36,135

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て

#### IV 令和5年度事業計画

来期は、機構との業務委託契約（令和5年度～令和9年度）の初年度にあたる。機構との業務委託契約に定める業務ならびに入札に際し機構に提出した企画書に則り、個々の改善提案を着実に遂行する。

また、令和5年度会社目標である「基地の安全と安定操業の完遂」、「改善活動の徹底」、「社員の健康とモチベーションの向上及び人材育成」の達成により、引き続き基地の安全・安定操業に努めていく。

#### V 役員名簿

令和5年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	成田 克史	
専務取締役	黒岩 理	
取締役	坂井 俊哉	
//	平塚 隆明	
//	三浦 隆	
監査役	細谷 正則	コスモ石油株式会社